

7 その他

区	地域コミュニティ協議会	活動名
北	濁川地区コミュニティ協議会	濁川地区 地域カレンダーの制作
西	坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会	自治会長情報連絡会の開催
西	真砂小学校区コミュニティ協議会	真砂コミ協拠点整備勉強会 (真砂地域活動拠点・まちづくりセンターの早期建設を)
西蒲	西川地域コミュニティ協議会	にしかわ緑の音楽祭

北区 濁川地区コミュニティ協議会

活動名：濁川地区 地域カレンダーの制作

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

各団体が開催する行事や催事が重複するなどの事例が多くみられ、また地域内での行事などが広く知られていなかった。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

当協議会の構成団体、保育園、小学校、中学校など年間行事を持ち寄り、日程調整会議を開催し、相互に調整作業を実施したうえでA3判、1ページ3ヶ月のカレンダーを作成。各戸、企業や団体などに配布した（3,000部）。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

濁川保育園、濁川連絡所（市役所）ほか
西川地域コミュニティ協議会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

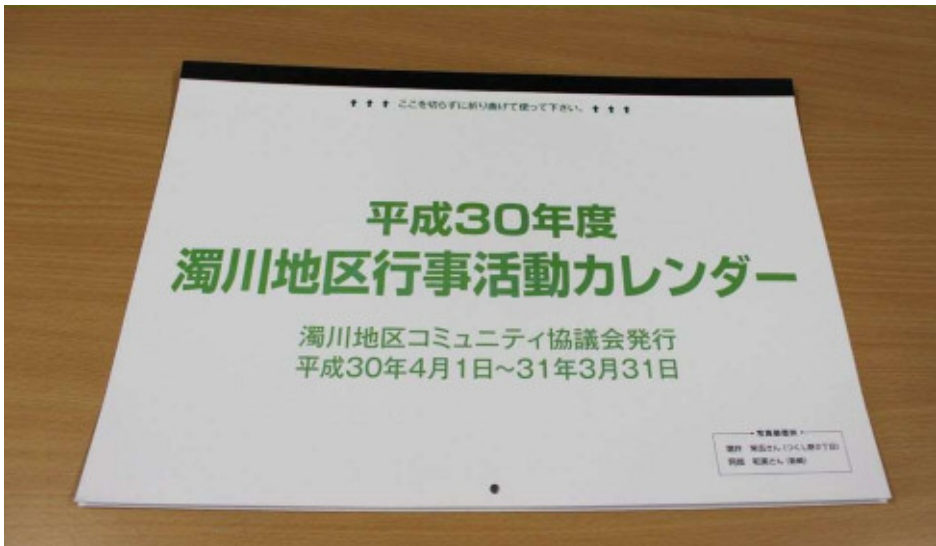
- ・地域住民が「地域活動カレンダー」を見て、日々の行事の確認ができ自らの生活スケジュール調整や共通の話題づくりになった。
- ・地域外からもカレンダーの目的、利用価値を認識され、参考に欲しいと来所された。
- ・企業や農協などの各団体からも地域の行事を確認できる手段として評価された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

行事の日程調整、月ごとの写真に地域の行事や風景を採用したが素材の選択に悩んだ。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

この地域カレンダーについて多くの方々や部門から好評であった。更にブラッシュアップし、地域の生活用具のひとつにしたい。



ふるさと散策MAP

濁川地区コミュニティ協議会

濁川まちづくりセンター
新美作市立区新美2507-3
TEL 0859-2559-3088

このカレンダーは「地域カレンダー制作事業」として新美市地域活動補助金を受けております。

23 木	濁中授業開始	6 木	
24 金	コミ協会おどり体操 ごぞれや花火	7 金	西名目所御つ
25 土	濁川諏訪神社秋祭り	8 土	
26 日	新崎諏訪神社秋祭 (餅まき大会)	9 日	濁小日曜学校 お楽しみ会 新崎諏訪神社 お祭り
27 月	松島諏訪神社の大祭 名目寺神社秋祭り(濁宮)	10 月	濁パトの白
28 火	濁小授業開始	11 火	
29 水		12 水	西名目所川端
30 木		13 木	
		14 金	

10 神前月 ● 濁川町民祭	8 葉月 ● 濁川地区コミュニティ協議会	9 長月 ● 濁川地区コミュニティ協議会
1 月	1 日	1 日
2 火	2 日	2 日
3 水	3 日	3 日
4 木	4 日	4 日
5 金	5 日	5 日
6 土	6 日	6 日
7 日	7 日	7 日
8 月	8 日	8 日
9 火	9 日	9 日
10 水	10 日	10 日
11 木	11 日	11 日
12 金	12 日	12 日
13 土	13 日	13 日
14 日	14 日	14 日
15 月	15 日	15 日
16 火	16 日	16 日
17 水	17 日	17 日
18 木	18 日	18 日
19 金	19 日	19 日
20 土	20 日	20 日
21 日	21 日	21 日
22 月	22 日	22 日
23 火	23 日	23 日
24 水	24 日	24 日
25 木	25 日	25 日
26 金	26 日	26 日
27 土	27 日	27 日
28 日	28 日	28 日
29 月	29 日	29 日
30 火	30 日	30 日
31 水	31 日	31 日

きょうのせきが入っており、
一ヶ月毎に切り替わります。

西区 坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

活動名：自治会長情報連絡会の開催

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当まちづくり協議会の年一回の総会だけでは、地域の課題、問題などの抽出が難しく、また、各自治会の状況や悩みなどの情報も共有できないため、今年度の当協議会の重点活動テーマとして取り上げた。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

全自治会を各地域別に4ブロックに分け、会長に集まってもらい、情報連絡会を年3回のペースで開催する。毎回、テーマを当協議会から提供し、実情、意見、情報などを出し合いながら討議する。討議内容は議事録にし、全自治会にフィードバックする。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

今後は、民生委員、社会福祉協議会、包括支援センターなどと連携した運営を図りたい。

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

他の自治会の状況、取組み、課題が分かり、自身の自治会の取組み方に大変参考になると、複数の自治会長から評価を受けている。また、当協議会役員からも、全域の状況や課題に触れることで、今後の活動の指針が考えやすいと声が挙がっている他、取組みを紹介した区役所、社協、包括支援センの職員から参加の申入れを受けている状況である。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域の特性を考え、ブロックを4つに分けて連絡会を開催している。また、得られた情報などを、必ず議事録に残し、各自治会にフィードバックしている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

民生委員、社会福祉協議会、包括支援センターなどと連携した活動に発展させ、種々の取組みを各自治体まで浸透させやすくし、全体での相乗効果を生んでゆきたい。

西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：真砂コミ協拠点整備勉強会（真砂地域活動拠点・まちづくりセンターの早期建設を）

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の大きな会議、コミ協の部会活動など他のコミセン、コミハウス等を借用して実施せざるを得ず、開催日時設定困難や参加人員の制限、遠隔地での開催による参加者減、常在者不在による業務連絡の遅滞等々コミ協業務・活動が推進すればするほど手狭な現状打破が必要視されて来ている。地域住民の要請を集約する事にした。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

平成23年度以降平成29年度の第3回目の「コミ協センター設置願い嘆願書」を新潟市長あて陳情書提出を行っています。住民の意識・意見集約の為標記勉強会を5/27、8/5の2回にわたって、ワークショップ方式で聴取しました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

更生慈仁会、パソコン趣味の会、明倫短期大学等今年度より新規会員となった。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

第1回勉強会出席者数69名、第2回出席者数58名によるワークショップで、コミ協活動と自治会活動の区分、組織のダブリ等基本的な問題意識等が検討され理解が進んだ事。

自治会は主にその範囲以内を活動地域とする。コミ協は校区全体、より広域にわたる諸課題に対応している。コミ協の基礎要因を再認識できたこと。校区をまたがる4自治会からの自治会統合要請もあった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加19自治会から普遍的にワークショップに参加して貰いコミ協の認識強化と活動事例の再確認を図ったこと。構成団体の積極対応の協力を得たこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

高齢化の進んでいるコミ協の一角に最近の児童増加傾向とコミ協活動への理解促進と各自治会活動の活発化をなお醸成する対応を図って行きたい。



西蒲区 西川地域コミュニティ協議会

活動名：にしかわ緑の音楽祭

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

旧西川町当時は、町民の親睦を目的に、小中学校のグラウンド等で、演奏会や踊り等が盛大に行われていたが、少子高齢化など時代の趨勢でこのような行事も姿を消し、地域住民の繋がりもどことなく希薄となってきた。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

コミュニティ協議会を中心として、各種団体が協力して実行委員会を設置し、行事の計画・スタッフの募集を行い、地域住民の繋がりを再認識する活動、賑わいの創出による地域の活性化に向けた活動を計画、従来の枠にとられない、音楽祭を実施しました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西川商工会、JA 越後中央西川支店、福祉施設「工房はたや」、新潟国際情報大学、日本文理高校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

緑豊かな田園に囲まれた会場で、音楽祭を開催することにより、西川地域が日本有数の穀倉地帯であることを再認識し、郷土愛を醸成することができた。

各種団体の交流の場となり、地域の親睦や融和を図り、賑わいの創出ができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

屋外での音楽祭であり、天候の問題が一番の課題であった。西川地域で「チアダン」の映画撮影が行われた機会を活用し、チアリーディングの出演を依頼するなど、西川地域の知名度アップを図りました。スタッフ確保に苦労しました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

予算の捻出に課題がありますが、この事業を継続することにより、西川地域の知名度アップ、地域住民の親睦と融和、各種団体の活動の活性化を図ることにより、賑わいの創出に貢献できるように考えています。



